

令和6年度 第2回議会懇談会 意見概要

テーマ：～観光振興について～

日時：令和7年2月12日（水）午後6時

場所：セントラルプラザ 2階集会室

次第

開会（司会） 議会運営委員長 米澤義英

1 開会あいさつ 議長 中澤良隆

2 懇談会司会進行説明

3 出席者紹介

野口（観光協会副会長）→伊藤（専務理事）→佐藤議員→遠藤観光協会課長→荒生議員→佐藤（観光協会理事）→湯川議員→山本（観光協会主事）→林議員→大関（地域おこし協力隊）→茶谷議員→中村ジオ推進室長→中瀬議員→菅野主事→飯村次長→春名（観光協会理事）→井村議員→菅原（観光協会理事）→北條議員→高橋（観光協会理事）→小林議員→長田（事務局長）→岡本副議長→谷口局長→金子議員→米澤議員→中澤議長→青野（観光協会会長）

4 懇談

進行：金子議運副委員長

- 観光協会として運営している中で、上富良野町の全体の観光について深堀が必要。各地の観光協会、事業を見ていると人の入込みPRの仕方、広告宣伝の仕方が全然違う。他の地域は告知を重点に行っている。上富良野はPR薄なのかと思う。他から人が来ないとお金が落ちない。PRをどうしていいのかもわからない状況。観光協会としての動きもしていかなければならない。ラベンダーなのか、豚さがりなのかビールなのか悩むところ。インパクトに欠けていると感じている。街並みもかえていかないといけない。車に乗っている方をどうやって町にのせていくか。商店街が少なくなっている現状で、お客さんと呼ぼうとする中で、目的を持ってもらえるようにするための動きが必要。深く考えていくことが必要である。地元の町民のアンケートでも良いし、行政のうごきだけでなく、とにかく町民の声が聴きたい。
- 町全体のことなかなか言えないが、観光協会でどうスキームをもってくるか。力をつけていかなければならないと思う。会議の中で行っているがまだ足りていない。5年後10年後どうしていくのかを考えていく必要がある。冬の滞在型の観光をするときに、いろいろ変化を持たせないといけないが、千望峠の活用が必要だが除雪が必要となる。十勝岳望岳台が地図に入っているが、上富良野の景観としてアピールをしても良いと思う。美瑛町に押されている感じがする。上富の広い景色としてPRしても良いと思う。
- 観光のことで話をすると、近辺の農地の離農者が売りに出す際、中国の方へ売るために、日本のバイヤーが多額なお金で買ってしまふような事例がでてきている。法令化し食い止めることが必要。町に税金が落ちる仕組みが必要。あと、温泉娘というものを展開している。漫画が好きのオタクを町に呼べないかと考えている。オタクはある程度高齢になってきているが、温泉に行きたいなどの考えを持っている。その方たちを呼び込めるようにしていきたい。全国に127か所に温泉娘が存在している。新しい人材が発掘できた形とな

っている。グッズ販売なども好評で、SNSなどで発信されているので町に来てもらえるのではないかと考えている。上富良野でも展開できたらと思うが、初期費用がかかる。

- 宿泊税について、どうしていくのか。来年度始まるときに一緒に行っていければと思うが。まだ話に上がっていない。宿泊税を取ることは大賛成である。宿泊税で補い町の方も補填できるとよいと思うし独立採算で行ければと思う。あと、民泊について、外資でやっているところも何件かあるが、民泊は決して反対ではないが、町はだれがどういう経営をしているかなど顔を把握するなどが必要。直接宿泊者と経営者とが顔を合わせない事業であるので、クレームとか出たときの窓口などが必要になると考える。民泊を町内の市内地で進めていくのであれば、きちんと把握していくべきで、保健所からも情報をもらい町が把握していくことが必要。日の出公園の隣の駐車場について、うまく活用できないかと思う。誰が管理しているかは知らないが、ラベンダーフェスタとかでもきちんと駐車料金を設定し期間中だけでも取ったらよいと思う。利用者は、トイレと電源があると集中してくる傾向がある。議論を重ねていてもらいたいと思う。意見を出すと、出来ない組み立ての議論が中心で、建設的な意見が出せる環境があるとよいと思う。
- 民泊は北海道が管理している。民泊は住んでいる人が近いところにいるものでないといけない。道の宿泊税を行う際、きちんと把握していかないと、登録者だけ税が課税されてしまうのがどうなのかと思う。
- 先日、沿線の観光協会の事務局会議でも話が出ている。宿泊税は北海道と合わせるといふ話もあるが、他自治体では何年か話し合いをしてやっと議会に出てきている現状である。
議員 一般質問に関して、所管へ行っても具体的な動きはないという状況であった。
議員 今後我々も調査していくことが大事。
- 民泊と宿泊税のことは気にはなっているが、それ以外のところで、上富良野に来て4年目を迎える。富良野美瑛エリアは全国、世界へ人をよべる地域と考える。富良野、美瑛は知られているが、課題として上富良野へ寄ってもらうことが大事だと思う。町に長く滞在してもらうことが大事。宿泊してもらうこと。高規格道路のこと影響及ぶことがある。町に泊まらないケースがあり弊害がある。通過地点とならないように、町の飲食店が充実することが大事。スキーヤーが食をすることで困っている。十勝岳のバックカントリーの客は途中で食事をするところなどに困っているの、不足していることが懸念される。観光振興として、地産地消農産物などの消費、上富良野の魅力につながってくると思う。ラベンダーフェスタ、どんどんお客が来るイベントになってきているが、駐車場の有料化などを考えていく必要がある。駐車場がすぐいっぱいになるから事業ができないなどが起きているので、対策が必要。あと、日の出スキー場の活用がもっと必要かと思う。アジア圏の方がスキーをすることを望んでいる。ちょっとだけ滑りたいという客層がいる中で、富良野スキー場はリフト券が9000円するなどとなっているので、上富良野の中で、体験していけるということ、活用について今後、検討が必要だと思う。
- せっかくお金をかけて雪像を作ったので、一日で終わってしまうのがもったいないという議論があった。層雲峡ではチューブ滑り15分500円というイベントがあった。期間を設定し、チューブ滑りなどのお金が取れるイベントを企画してはと思う。チューブのレンタルなども行いながら。

進行 これより休憩とし、再開は19時05分とする。

- 貴重な意見をうかがえたが、うちの現状を話すと、発足した目的は、上富良野の農業というより日本の農業を何とかしないと、と思う。観光から農業を発信している。30年という中ではいろいろあった。昼の食事のことでいうと当時松尾ジンギスカンを誘致するという声が出たが、地元から反対を受けた話も合った。しかし、松尾さんと連絡することもできたので、結果は良かったと思う。良い食事の店は、必ずリピーターとしてきてもらえると思う。自身が上富良野の魅力に気づいていない面があった、景色の良いところに住んでいるから気づいていなかった。西から見る十勝岳の景色は最高である。お金の力が必要で、山林にも種類があり、伐採ができないものもあり、町の許可が必要。法律で守られているところは良いが、雑種地などは法律の網がかかっていない。高規格道路のアンケートを今日書いたばかり。江幌完別川の一番低いところに土地があるが泥流で影響を受けた場所である。地域おこし協力隊の方が農業をやりたいという方が増えている。なんとか上富良野に残ってもらえるように支援していきたい。人口がまた1万人を超えるようにしていきたい。
- 物産館の話が没になったときがあるが、今後道の駅を作るときの構想を作るときに観光協会と議論をして煮詰めていくのがいいと思う、観光協会としても利益を得るようにしていきたい。早いうちに議論ができるとよいと思うが。

議員 過去のは道の駅というものではなかった。複合的な施設として。

議員 道の駅の構想は町長の一期目の時に構想を持っていた。しかし、今のところは進んでいない。3月定例会でも一般質問をしていく議員がいる。どんな道の駅を考えるのかなど諸条件を決めた中で、観光関係の機関、町の人と議論して詰めていくことが大事だと思う。

- 上富良野町歴2年となる。この町に来て観光業、マネタイズ（お金の作り方）がうまくない。町になじみすぎている人が多い。美瑛町はプアーツーリズム化している。通過だけして、町の負担だけ増えている。無料でやるサービスは町民向けにやることは良いが、しっかりと外からくる客からとるような形としていくことが大事。外からくる人がどんなことを望んでいるかを考えることが大事。現地の方の価格と外から来る方の価格を分けて設定することも一つの方法がある。町内のバスをだしているが、乗れない方がでてきている。行政側としてお金を取れない事情もあるかもしれないが、取るべき人からとらないと質の悪い観光客が増えたりもしてくる。幸か不幸か、まだ上富良野町は外国人が少ない方であるので、今のうちに対策をしないといけないと思う。オタクの話が出ていたが、オタクはお金を持っているので、温泉娘、温泉と町なので、農業機械のラッピング、自衛隊車両など話題性になることを発掘していく。ストーリーを作っていくことが大事。
- 前職は東京のベンチャー企業、前前職が東京の銀行。上富良野の方はお金儲けがうまくない。インフラ化（観光がインフラであること）、商工業、農業、自衛隊という話があったが、観光は何次産業か。0次だと思っている。観光でお金を回すことが大事。電池、水、ガスと同じくらい大事。上富良野に思っていることは、町の方は観光がインフラと思っていなさすぎる。町が予備電源を使っていない観光に対して軽視していると思っている。一極地の不足。（道の駅のような環境客の拠点）なんで、町は道の駅を作りたいと考えているのかわからない。お金なのか、オーバーツーリズム対策なのか。町の施策から一切見えてこ

ないことが問題である。道の駅があればいいと思うのは吐出した場所があればいいと思うが。観光客が現在60万人来ているが、これを100万人にすることは簡単である。しかし、オーバーツーリズムにリスクがあり、地元住民が困るからということがある。上富良野の飲食業の方と話したが、顧客単価が上がるお金をいっぱい持っている客を呼ぶのが良いと思っている。上富良野町顧客単価を増やしていく富裕層の方にPRして重点を置いていくのがいいと思っている。計画性をもって何が大事なのかをしっかりと話し合っていたきたい。

○ジオパークについて

中村室長 ジオパークそのものに親しんでいただいているのか。価値のある自然景観があるという全国的に認められている場所の事である。全国48か所ある。このエリアは美しい場所があるんだよというブランド付けしていくことが大事。ジオパークに認定されていることを説明してもらえるとありがたい。毎年持ち回りで全国大会をしているが、今年が町の当番である。次は35年後。全力投球していきたい。全国大会はなぜ行うのか、交流をしていきたいが、それだとその中だけの集まりになってしまう。おおよそ800人来ることになるが、その方と商工業者と交流をしてほしいと考えている。取り組みの発表などもあるが、物販コーナーマルシェなどを開催し楽しんでもらいたいと考えている。9月27日、28日で開催する。ツアーも行っていくので、お店などをアピールしていきたい。積極的参加していただきたい。ジオツーリズムはほぼ観光だが、ただの観光でなく、ジオガイドによる観光を提供することができる。優れた価値を保全しつつ、より多くの人に楽しんでもらうこととしている。ガイドを増やしてより多くの人にアピールしていきたいと考えている。全国大会では是非ジオパークに触れていただきたい。

岡本副議長 あいさつ。

(終了 午後8時00分)